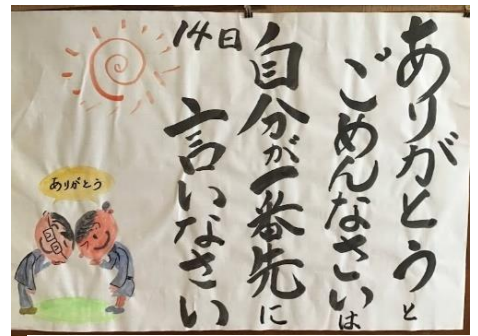


学校訪問シリーズ 5

臼杵市立野津中学校から学ぶ

学校の教育目標「野津が好き 仲間が好き 自分が好き～郷土を愛し自ら学び、仲間と共に成長する人づくり～」を達成するため、育成を目指す資質・能力を「確かな学力・体力、進んで表現する力、人を大切にする心」の育成と定め、3つのプロジェクトチームを中心に計画的に取り組んでいます。

本校のある職員さんが校長先生に、「明日の教育事務所訪問では事務所の方に『野津中はとても良い学校ですよ』と、伝えてください」と言ったそうです。このことから、本校が目指す「生徒が行きたい学校、保護者は通わせたい学校、教職員は勤めたい学校」へ邁進していると感じました。

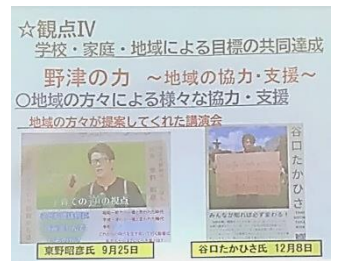


↑ 亀井校長先生自作の「日めくり言葉」

学校経営から学ぶ

今年度は特に授業力の向上を目指し、研究授業や互見授業に加え、授業の板書を職員室や掲示板に「渾身の1枚」として掲示する自主的な取組も行っています。また、「生徒と共に創る授業アンケート」を学期に2回行うことで、教師は自らの授業を振り返り、生徒には「野津中授業の約束」を徹底させながら、教師と生徒が共に「自分の考えを進んで表現する」ことに取り組んでいます。

また、保護者や地域の方がとても協力的で、環境整備の他、学校が育成を目指す資質・能力に関する講演会を行う等の取組を行っています。



授業から学ぶ

全学級において、タブレットを活用しながら生徒達が協力して学び合う様子を見ました。このような実践が日常的に行われているからでしょう、1学期の生徒アンケートでは、「友達と協力して取り組むことができる」や「仲間が好きだ」の項目で、肯定的な回答した生徒は共に97%という結果でした。これからも、生徒と共に創る授業のさらなる実践が期待されます。

指導案においては、本時のねらいと評価規準の整合性があり、「振り返り」も目指す生徒の姿で表していた。特に保健体育では単元目標を3つの観点で書かれているので、生徒達も本時を何のために行うか、それぞれの課題を理解しながら行動をしていました。

また、どの授業も「生徒が自分の考えを進んで表現できるための手立ての工夫」を意識しており、本校が育成を目指す資質・能力を、教科横断的に取り組む姿勢を感じました。



NO.109 2022年9月 臼杵市立野津中学校

脚下照顧

一人一人が意識すると、みんなの気持ちが揃う。これを見た人は、自分達もやろうと思う。良い行動の輪が広がる。



NO.108 2022年9月 臼杵市立野津中学校

ICTのCは人

タブレットは自分の思い伝え、相手の考えを知るための道具。心をつなぐのは人だよね。



NO.108 2022年9月 臼杵市立野津中学校

みんな真剣

プレーをする人、その様子を撮影する人。みんなが真剣になるので、それぞれが成長する。



NO.108 2022年9月 臼杵市立野津中学校

相手意識

幼児が喜んだり、ワクワクするにはどんな絵がいいかな。相手の笑顔を想像すると、作品にも力が入る。